令和７年度採用
山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・公民（倫理）問題

「始め」という合図があるまで，このページ以外のところを見てはいけません。

注　　意

1　この問題は６問７ページで，時間は60分です。

2　解答用紙は，別紙で配付します。「始め」の合図で始めてください。

3　解答は，それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。

4　「やめ」の合図があったら，すぐやめて係の指示に従ってください。

5　解答用紙を持ち出してはいけません。

令和７年度採用　山梨県公立学校教員選考検査

高等学校　公民（倫理）

1　次の（１）～（10）の問いに答えよ。

（１）　民主政治は，国民主権の原理により，国民の意思でおこなわれるものである。このような民主政治のうち，国民が直接参加する政治を何というか，答えよ。

（２）　ＥＵ（欧州連合）では憲法にあたる条約が2009年に発効し，欧州理事会常任議長（ＥＵ大統領）と外部・安全保障政策上級代表（ＥＵ外相）などが設置された。この条約を何というか，答えよ。

（３）　社会主義国で見られる制度で，権力分立を否定して，国家権力を国民の代表である立法機関に集中させる制度を何というか，答えよ。

（４）　ＧＨＱの総司令官マッカーサーが，新しい日本の憲法の方針について示したマッカーサー三原則とは，「天皇制の維持」と「戦争放棄」ともう一つは何か，答えよ。

（５）　2013年に制定，2016年に施行された障害者に対する不当な差別的とり扱いを禁止するとともに，障害をとり除くための合理的配慮の提供に努めるよう，企業に求めている法律を何というか，答えよ。

（６）　各政党の得票数に応じて議席を配分する制度であり，小政党でも当選者を出す可能性が大きくなる一方で，政権が不安定になることがある選挙制度を何というか，答えよ。

（７）　税負担者と納税者が異なる消費税などの租税を何というか，答えよ。

（８）　日本の社会保険は，五つある。「医療保険」，「年金保険」，「雇用保険」，「労働者災害補償保険（労災保険）」ともう一つは何か，答えよ。

（９）　1996年に国連総会で採択され，核実験の全面的な禁止を目指す条約を何というか，答えよ。

（10）　国際収支は，大きく三つに分けられる。「経常収支」と「資本移転等収支」ともう一つは何か，答えよ。

2　次の（１），（２）の問いに答えよ。

（１）　スイスの心理学者ピアジェは，世界をどのように認識するかは，年齢に応じて変化すると主張した。ピアジェの認知発達理論のうち，形式的操作期について，説明せよ。

（２）　アメリカの心理学者カーネマンは，確率をともなう選択をする際の意思決定に関するプロスペクト理論を提唱した。この理論について，説明せよ。

3　次の文章を読んで，下の（1）～（8）の問いに答えよ。

※著作権法に基づき掲載は省略します

（1）　文中のａ～ｅに当てはまる語句を，それぞれ答えよ。なお，同じ記号には同じ語句が入るものとする。

（2）　下線部①に関連して，フランスの哲学者ベルクソンは，道具を作成し，環境に働きかける創造性を人間の本質とした。このような本質をもつ人間を何と呼んだか，答えよ。

（3）　下線部②に関連して，次の文章の説明として最も適当なものを，次のページのア～エから一つ選び，記号で答えよ。

それは，（母も含めて）アダムにおいて死んだすべての魂の罪の危険を考えて，深く動かされて霊から湧き出る涙です。…（中略）…主よ，赦してください。母の裁きに関わらないように，お願いします。憐れみが裁きに勝りますように。実際，あなたの言葉は真実です。あなたは憐れみ深いものに憐れみを約束しています。人々が憐れみ深いのは，あなたが彼らに憐れみ深いからです。

（アウグスティヌス『告白』より作成）

ア　彼は，母の死を通して神の言葉を人々に伝えるために，一部の悪しき人々が生まれながらに罪を抱えていると警告する一方で，罪の赦しに基づく新しい約束を説くことによって，希望と勇気を与えようとしている。

イ　彼は，母の死そのものよりも，原罪のゆえに母が犯した罪が神によって裁かれることを深く嘆く一方で，そのような神の裁きが，憐れみには憐れみを，罪には罰を，という報復主義に基づくものだと説いている。

ウ　彼は，母の死そのものよりも，むしろ原罪によって母が犯した罪が贖い得ないものであることを深く悲しむ一方で，そのような罪さえも神からの憐れみという恩寵によって裁きを免れ得ると信じている。

エ　彼は，母の死を悲しみ，彼女の犯した罪を嘆く一方で，そのような罪の裁きに勝る憐れみ深い神の恩寵のおかげで，他の人々もまた母に憐れみを与え，人々が母の魂の罪を赦すようになると示唆している。

（4）　下線部③やハディースなどにもとづき，まとめられているイスラーム法を何というか，答えよ。

（5）　下線部④に関連して，大乗仏教において自らの悟りを開くための自利とともに，他者を救おうという慈悲の利他行を重んじ，広く一切の衆生の救済を目指す者を何というか，答えよ。

（6）　下線部⑤に関連して，アリストテレスは，正義とは正しい行為であり，正しい人のあり方であるとした。このような正義のうち配分的正義について，説明せよ。

（7）　下線部⑥に関連して，四徳を備えた者には，どのようなことにも動じない道徳的勇気である浩然の気が内からみなぎっている。このような理想的人間像を何というか，答えよ。

（8）　本文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを，次のア～エから一つ選び，記号で答えよ。

ア　先哲の思想のなかには，差別の残る現実社会の次元を超えた平等を説く思想もあれば，理想に基づいて社会的な調和を説く思想もあった。いずれの思想においても，その目標がこの世では実現できるはずもないことが当初から理解されており，現実を超えた世界でのみ可能になると説かれていた。

イ　先哲の思想のなかには，万人の平等を提唱し，現実社会の貧困や差別を根本的になくさない限り，救済は成立しないとする思想がある一方，社会を構成する者たちの役割分担を強調して，現実の政治の歪みを正そうとした思想もあった。いずれの思想においても，現実に対する批判が根底にある。

ウ　先哲の思想のなかには，救済は現実を超えた世界において人々に平等に与えられると考えた思想がある一方，現実において理想を追求し，調和のとれた社会を構想する思想もあった。いずれの思想においても，批判を差し挟むことなく，神や統治者に従うことが必要とされた。

エ　先哲の思想のなかには，差別の残る現実社会の次元を超えた平等を説き，よりよい生のあり方を提示する思想もあれば，社会を構成する者たちの役割分担を考え，調和のとれた理想的な社会を模索する思想もあった。いずれの思想においても，現実社会の諸問題を見すえた思索が展開されている。

4　次の文章を読んで，下の（1）～（8）の問いに答えよ。

※著作権法に基づき掲載は省略します

（1）　下線部①に関連して，古典を深く研究した賀茂真淵が見いだした，男性的でおおらかな気風を何というか，答えよ。

（2）　下線部②の源信は「厭離穢土　欣求浄土」をすすめ，そのための方法として観想念仏を示した。この観想念仏とはどのようなものか，説明せよ。

（3）　下線部③の法然は旧来の仏教界からのはげしい批判や弾圧を受けた。その理由を「聖道門」，「浄土門」という語句を用いて，説明せよ。

（4）　下線部④に関連して，次の法然の弟子親鸞の言葉の趣旨として最も適当なものを，下のア～エから一つ選び，記号で答えよ。

よくよく案じみれば，天に踊り，地に踊るほどに，よろこぶべきことをよろこばぬにて，いよいよ往生は一定（いちじょう）*と思いたもうべきなり。よろこぶべきこころをおさえて，よろこばせざるは煩悩の所為（しょい）**なり。しかるに仏かねて知ろしめして***，煩悩具足の凡夫と仰（おお）せられたることなれば，他力の悲願は，かくのごときのわれらがためなりけりと知られて，いよいよ頼もしくおぼゆるなり。　（唯円『歎異抄』より作成）

*一定：確かにそうと定まっていること。　**所為：仕業・原因。

***知ろしめして：お知りになって。

ア　喜びの心が湧（わ）いてこないがゆえに，往生は確かに定まっている。信心がないことを凡夫に自覚させるため，仏は私たちを喜ばせないのである。そのことを確実に知るとますます本願を頼むべきという心が湧いてくる。

イ　喜びの心が湧いてこないがゆえに，往生は確かに定まっている。信心が足りないことを凡夫に知らせるため，仏は誓願を立てたのだから，喜べない心を翻してまず喜ぶべきであり，ますます本願を頼むべきである。

ウ　喜びの心が湧いてこないがゆえに，往生は確かに定まっている。仏の誓願はそのような凡夫を対象としているからである。したがって喜べないからこそ往生は確実であり，ますます本願が頼もしく思われる。

エ　喜びの心が湧いてこないがゆえに，往生は確かに定まっている。喜ぶ心を妨げているのは，煩悩の仕業だからである。したがって煩悩を増やすよう努めれば往生は確実であり，ますます本願が頼もしく思われる。

（5） 下線部⑤に関連して，イタリア人宣教師シドッチの訊問をもとに『西洋紀聞』をあらわし，西洋の地理や風俗を記録しつつ，キリスト教の世界創造説などを朱子学の立場から批判した朱子学者は誰か，名前を答えよ。

（6） 下線部⑥の本居宣長は，和歌の本質や『源氏物語』の主題は，事物にふれたときの感情の動きであるとした。この感情の動きを何というか，答えよ。

（7） 下線部⑦の和辻哲郎が考える人間について，西洋近代思想に触れながら，「個人」，「社会」という語句を用いて，説明せよ。

（8） 本文の趣旨を踏まえて，文中の【　　】に入れる記述として最も適当なものを，次のア～エから一つ選び，記号で答えよ。

ア　日本人はいつの時代も，悲しみを，常に自己の救済の契機として役立ててきたことが分かる。人々は，その悲しみや悲哀の意味を，神や仏との関係から見いだすことに努めたのである

イ　悲しみに出会うことは，むしろ喜びとしなくてはならないことが分かる。人々は，その悲しみや悲哀を，哲学的思索の原動力として見いだし，常なるものを求める心の現れとして受けとめてきたからである

ウ　悲しみは豊かな意味をもち続けてきたということが分かる。人々は悲しみや悲哀の体験を通じて，その根源に，神や仏を超える何ものかをも見いだしてきたことが明らかになるからである

エ　日本人は，悲しみを意味あるものとして受けとめてきたことが分かる。悲しみや悲哀は，神や仏との関係によって位置づけられ，また常なるものを求める心の現れともみなされてきたのである

5　次の文章を読んで，下の（1）～（6）の問いに答えよ。

※著作権法に基づき掲載は省略します

（1） 下線部①のデカルトは，真理に到達するために従うべき四つの規則を挙げた。「明証の規則」，「分析の規則」，「総合の規則」ともう一つは何か，答えよ。

（2） 下線部②に関連して，次の文中ａ～ｃに当てはまる語句を，それぞれ答えよ。なお，同じ記号には同じ語句が入るものとする。

ホッブズは，物体の本性をデカルトのように（ ａ ）とはみなさず，運動であると考えた。彼は，物体の運動に自己保存の傾向を認め，人間におけるこの自己保存の権利を（ ｂ ）と呼ぶが，これが無制限に行使されると，かえって各人の自己保存は困難となってしまうと言う。そのため人々は（ ｂ ）を一人の人間または合議体に譲り渡し，譲渡されたものは強大な権力をもった（ ｃ ）を形成して平和を維持すると彼は説いた。

（3） 下線部③に関連して，イギリスのダーウィンによって提唱された進化論は，キリスト教の目的論的自然観に大きな衝撃を与えた。その理由を説明せよ。

（4） 下線部④に関連して，次の文中ａ～ｃに当てはまる語句を，それぞれ答えよ。なお，同じ記号には同じ語句が入るものとする。

メルロ=ポンティは，フランスの実存哲学者である（ ａ ）と同様にフッサールと（ ｂ ）から大きな影響を受けたが，「実存は本質に先立つ」と考えた（ ａ ）のように，実存としての人間の全面的な（ ｃ ）を主張せず，人間の実存がその身体性と切り離せないことを強調した。

（5） 下線部⑤に関連して，次の文章を読み，そこから読み取れる内容として**適当でないもの**を，下のア～エから一つ選び，記号で答えよ。

たとえ，大地と，すべての下級の被造物とが万人の共有物であるとしても，すべての人は，自分自身の身体については所有権をもっている。…（中略）…この労働は労働した人の疑いもない所有物なのであるから，少なくともほかに共有物として他人にも十分に，そして同じようによいものが残されている場合には，ひとたび労働がつけ加えられたものに対しては，彼以外の誰も権利をもつことができないのである。

（ロック『統治二論』より作成）

ア 自分の労働による所有は認められるが，それによって他の人が所有することを大きく妨げるようなことがあってはならない。

イ 自分の労働による所有は認められるが，生産手段を所有して他の人を支配するといった権利をもつことはできない。

ウ 自然は人々の共有物であるが，身体を用いて自然に対して労働を付加することによって，所有物への権利が発生する。

エ 自然は人々の共有物であるが，自然に対する労働を生み出す身体そのものは共有物ではない。

（6） 本文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを，次のア～エから一つ選び，記号で答えよ。

ア 人間は，身体的知覚の根源性に支えられて世界内に生きる存在である。それゆえ，生命なき身体が知覚の働きによって生きた身体へと変化していくプロセスを科学的に解明する必要がある。

イ 身体は，純粋な主観でも単なる客観でもない両義的存在である。心と身体を分離して考えるのではなく，身体を介して世界に生きる人間の在り方にも目を向ける必要がある。

ウ 人間は，身体の有機的メカニズムに支えられた高度な精神能力をそなえる存在である。それゆえ，物質的身体において非物質的な心の機能が構築されていくプロセスを科学的に解明する必要がある。

エ 身体は，生命現象の根源性を基盤として，世界と相互作用する主観的存在である。身体を自然科学的に捉えることも重要であるが，生きた身体としての人間存在の主観的根源性にも目を向ける必要がある。

6 高等学校学習指導要領（平成30年告示）「第２章　各学科に共通する各教科　第３節　公民」について，次の（１）～（３）の問いに答えよ。

（１） 「公共」では，「思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し，表現すること」が必要であるとしている。その際，思考実験を取り入れた授業において，考えられる問いを，答えよ。

（２） 「人間としての在り方生き方」に関する教育は，何を目指すものか，答えよ。

（３） 次の文は「倫理」の「３　内容の取扱い」の一部である。下の①，②の問いに答えよ。

> (1) 内容の全体にわたって，次の事項に配慮するものとする。
> ア　内容のＡ及びＢについては，この（　a　）で取り扱うものとし，既習の学習の成果を生かすこと。
> イ　中学校社会科及び特別の教科である（　b　），高等学校公民科に属する他の科目，この章に示す地理歴史科，（　c　）及び情報科並びに（　d　）などとの関連を図るとともに，項目相互の関連に留意しながら，全体としてのまとまりを工夫し，特定の事項だけに指導が偏らないようにすること。
> (2) 指導計画の作成に当たっては，次の事項に配慮するものとする。
> ア　第１章第１款の２の (2) に示す（　e　）の目標に基づき，この科目の特質に応じて適切な指導をすること。
> (3) 内容の取扱いに当たっては，次の事項に配慮するものとする。
> ア　（　f　）に関する古今東西の先哲の思想を取り上げるに当たっては，（　g　）の日本語訳，口語訳なども活用し，内容と関連が深く生徒の（　h　）や学習の段階に適した代表的な先哲の言説などを扱うこと。また，生徒自らが（　i　），（　j　）などを確立するための手掛かりを得ることができるよう学習指導の展開を工夫すること。

① 文中のａ～ｊに当てはまる語句を，それぞれ答えよ。

② 下線部について，「倫理」の学習において，どのような内容と関連を図る必要があるかを，答えよ。

高・公民（倫理）1

※印のところは記入しない

受検番号		氏名		※	

切り取らないこと

令和７年度採用　山梨県公立学校教員選考検査

※

高等学校　公民（倫理）　解答例

1

10 点

（1）	直接民主制 ①	（2）	リスボン条約 ①	（3）	権力集中制 ①
（4）	封建制の廃止 ①	（5）	障害者差別解消法①	（6）	比例代表制 ①
（7）	間接税 ①	（8）	介護保険 ①	（9）	包括的核実験禁止条約①
(10)	金融収支 ①				

2

6 点

（1）	抽象的な概念や知識を獲得できるようになり，具体的なものごとだけではなく， 抽象的な概念についても論理的思考ができるようになる認知発達の段階である。③
（2）	不確実な状況で人がどのような判断を下すのかを示す意思決定モデルであり， 意思決定は損失を回避する方向に向かうと心理学者カーネマンは，提唱した。 ③

3

25 点

（1）	a	イエス ②	b	ムハンマド ②	c	ブッダ ②
	d	ソクラテス ②	e	孟子 ②		
（2）	ホモ・ファーベル（工作人） ②					
（3）	ウ ②					
（4）	シャリーア ②					
（5）	菩薩 ②					
（6）	資源を配分する際に働く正義で，それぞれの人の能力や名誉や功績に応じて， 比例的に配分することをいう。 ③					
（7）	大丈夫 ②					
（8）	エ ②					

（裏面に続く）

4

19 点

（1）	ますらをぶり　②
（2）	厭離穢土　欣求浄土のための方法として示されたものであり，心に阿弥陀仏や極楽浄土を思い描く念仏のこと。　③
（3）	旧来の仏教界が実践する聖道門ではなく，他力を信じて浄土に生まれ，後生に悟りを得ようとする浄土門を説いたため。　③
（4）	ウ　②
（5）	新井白石　②
（6）	もののあはれ　②
（7）	人間という言葉は，個人のみをあらわすのではなく，同時に人と人との間柄をあらわし，個人と社会は人間の二つの側面をなしている考えのことをいう。　③
（8）	エ　②

5

21 点

（1）	枚挙の規則　②					
（2）	a	延長　②	b	自然権　②	c	国家　②
（3）	キリスト教では，生物種は神が創造し変化しないと考えられたが，ダーウィンは，環境に適応できた個体が自然淘汰により生き残ってきたと主張したから。　③					
（4）	a	サルトル　②	b	ハイデガー　②	c	自由　②
（5）	イ　②					
（6）	イ　②					

6

19 点

（1）	牧草地を共有している農民たちが，各自が利益を増やそうとして放牧する家畜の数を増やしすぎると，牧草地はどうなるか。　③					
（2）	自分自身に固有な選択基準ないし判断基準，つまり，人生観，世界観ないし価値観を形成することを目指している。　③					
（3）①	a	順序　①	b	道徳　①	c	家庭科　①
	d	特別活動　①	e	道徳教育　①	f	倫理的諸価値　①
	g	原典　①	h	発達　①	i	人生観　①
	j	世界観　①				
（3）②	情報の妥当性や信頼性を踏まえた公正な判断力を身に付けることができるような内容と関連を図る。情報モラル。　③					